

月刊 地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.123 2004.12

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集

第10回リサイクルデザインフォーラム

「みんな集まれエコレンジャー！」



- 3Rクイズラリー & 体験コーナー _____ P3
- 子ども環境活動発表会 _____ P7
- 子ども環境会議 _____ P7

「みんな集まれエコレンジャー！」



子ども達に、省エネや環境保護の大切さについて考えてもらうきっかけになれば、と始めたリサイクルデザインフォーラムも今年で10回目を数えます。今年のテーマは「私の考える地球を救う3カ条」。リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再資源化）の3Rを実行していこうという絵日記を、夏休みを利用して市内の小学生に描いてもらいました。全応募作品のうち入賞した434作品の展示と、環境について考え行動している子ども達の活動発表会、子ども会議や、スタンプラリー形式のリサイクル体験コーナーといった盛りだくさんのイベントの様子をお伝えします。

環境絵日記発表会・表彰式



横浜市資源リサイクル事業協同組合
理事長 秋元康男

環境絵日記の募集は今年で5回目。応募用紙は、毎年7月に市内の全小中学校に発送しています。テーマに沿って、学校や家庭で行なっている取り組みや考えたことなどを絵日記に表現してもらうというのですが、今年は過去最高の4345人もの子ども達が作品を寄せてくれました。夏休みの宿題のひとつになったかもしれません。あるいは「去年も、おととしも、ずっと続けてきたんだから」と、課題の定番として取り組んでくれた子もいたでしょう。どの絵日記からも、子ども達とご家族のいきいきとした暮らしが伝わってきます。

今年は、組合員だけでなく本誌読者（サポーター）も加えた36名の選考委員が厳正な審査を重ね、入賞434作品を選出。どれも力作ばかりで、絵と日記の総合評価をするのは身を削るようにたいへんな作業でした。入賞した作品はどれもすばらしいものですが、今回選ばれなかった作品のそれぞれに味があり、メッセージ性にあふれていました。特別賞に輝いた6人の作品をご紹介します。

リサイクルデザイン大賞 大坂昂也さん（西が丘小5年）



西が丘 小学校5年 大坂 昂也
8月13日 金曜日 天気 晴
夏休み、新潟のおばあちゃんの家へ遊びに行きました。おばあちゃんのおくせは、「物は大事にしないくちやね。」です。おばあちゃんはお米のとぎ汁を庭にまきます。食器の洗いものを洗う時は、いらぬ紙でお皿のよごれをふきとってから洗います。そして、水道の水は、おけからバケツに移して、玄関前の道か、庭にまきます。道にまくと、すずしくなるそうです。洗たくは、おふろの残ったお湯を使います。それから、ラップは一度使ったら、すぐ捨てる事はしません。洗ってまた使います。マーガリンなどの空いた容器は、洗って入れ物にしています。面とくさがらずに、物を大事にするおばあちゃんに、リユースの金メダルをあげたいです。

横浜市長賞 佐々木菜緒さん（つぎの丘小5年）



つぎの丘 小学校5年 佐々木 菜緒
8月12日 木曜日 天気 晴
今日は、「ミミ」について考えてみた。家の中を見わたすと、牛乳パックを作った物がいろいろある事に気がついた。
・まな板の代わり・小さなイス・ひきだしの中の整理ケース・お父さんのタバコ入れ・古い油を捨てる時などに使っていた。
お母さんは、リユースレンジャーかなあ……
一人一人の心がけで、地球がすぐくえらと思う。だから、私もエコレンジャーになつて気をつけていこう。
でも……このままだと地球が「ミミ」だらけになって、「重いよあー」って泣いちゃうかも……。かわいそうだなあ……
だからみんなも地球に協力しよう。



笑顔のすばらしいおばあちゃんの首に、金メダルが輝いていますね。おばあちゃんの自然体なリサイクルを見たときの、大坂君の感動が表われています。



たいへん身近なことに気付きました。次は地球が笑っている絵を描いてもらえるよう、みんな協力しましょうね。

10月31日(日)

大さん橋国際客船ターミナル内CIQプラザにて開催
入場者数5,616名

横浜市会議長賞

高野茜さん(つつきの丘小1年)



つつきのおか小学校1年このあかね
8月21日 土曜日 天気
わたしは、おえかきがいす
きです。
かみをいっばいつかいます。
かみがなくなるたびに、あた
らしいかみをつけていました。
きょう、おえかきをしようと
おもったら、おかあさんがこう
こくをくれました。
うらがしういこうこくです。
たくさんくれたので、たくさ
んえかかけます。
あたらしいかみをかわなくてす
みです。

横浜市環境事業局長賞

高澤壮登さん(中田小4年)



中田 小学校4年 高澤 壮登
7月31日 土曜日 天気 はれ
ぼくのすんでいる中西町内会
では、月に一回古新聞とアルミ
かんを集めています。
ぼくは第三土曜日の朝に古新
聞とアルミかんを中西町内会館
の前に出しにいきました。中西町
内会のおじさんが「ありがと。
そこにおい」と言われます。
アルミかんは、アルミ板にな
ってせいかん工場に行つてまた
かんになります。
古新聞は新しい新聞や週刊し
になります。
リサイクルはゴミをなくして
新しい物を作つてすごいなと思
います。



お絵かきの大好きな茜
ちゃんが、広告の裏を
使って何度も何度もお
絵かきをしている様子が想像
でき、リユースを考えるにふ
さわしい作品です。



学校の授業でリサイ
クルの勉強をしている
んですね。その学
習の成果が内容に表れていま
すし、絵の中にG30という文
字まであっていいですね。



横浜市教育委員会賞

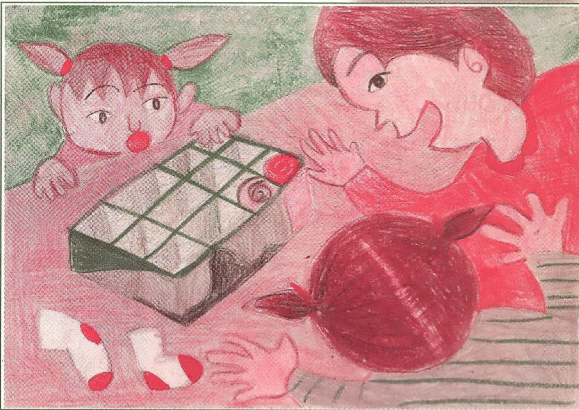
鈴木雄士さん(上瀬谷小4年)



上瀬谷 小学校4年 鈴木 雄士
8月19日 木曜日 天気
海のそこに魚が見えた。
岩のかげにいた。
いろいろな生物が住む海。
ぼくは、海が大好きだ。だから
海に行った時ゴミ拾いをしようと
した。ライフセーバーからの呼び
かけで、ゴミ拾い活動があった。
でも時間がすぎていてできなくて
少し残念だった。海をきれいにし
たかったからだ。でも他の人達が
拾ってくれたのを見て安心した。
皆の海だから皆の心と手でいつ
までもきれいにしたい。
ゴミは捨てない!持ち帰る!そ
してリサイクルへ。だれでもでき
る小さいけれど大切なこと。いつ
でもどこでも心がけたいと思う。

横浜資源化協議会賞

分道佳苗さん(鶴ヶ峯小3年)



つるがみね 小学校3年 分道 かな
8月27日 金曜日 天気
夏休みの間に、わたしは、お姉
ちゃんときょうにゆうを、毎日飲
みつつけました。
夏休みがもう終わるころになる
と、牛にゆうパックは、13本にな
りました。
お母さんは、飲んだ記念にと、
すべての牛にゆうパックの切り口
をそろえて、まわりをガムテープ
で止め、その後きれいな色紙で、
まわりをつつみました。わたしと
お姉ちゃんが、ふしぎそうに見て
いると、お母さんは「くつ下いれ
のかんせいだよ。」と、わらって
その牛にゆうパックにわたしたち
のくつ下をいれてくれました。



海岸のごみは確か
に多いです。環境
を守るのはそれぞ
れの意識次第、とい
うことに気付かせてくれる良
い作品です。



牛乳パックでくつ
下入れを作るなん
て、とても良いア
イディアですね。かな
さんも、きっと良いお母
さんになるでしょう。



3Rクイズラリー & 体験コーナー

「リサイクルっていうのはよく聞くけど、リデュースとかリユースって、何？」と思う人もいるでしょう。「家庭から出るごみを減らすには、買い物をする時から気をつけなくては」というのがリデュース。一度使ったものを何度もくり返し使うのがリユース。これにリサイクルを加えた「3R」という考え方を、子どもたちにもわかりやすい体験形式を使って伝えようという試みが行なわれました。



“一番大切なリデュース”

ごみを減らそう！エコ買い物ゲーム

「発泡トレーに乗ってラップをかけられた野菜とバラ売りや計り売りの野菜。どちらを選べばごみを減らせるのかな」「大袋に入ったおせんべいと2枚ずつ小分け袋に入ったおせんべい、どちらのほうがいいのかな」そんなことを考えながらお買い物をしてみよう、というコーナー。手に手にカゴをさげた子ども達が次々に挑戦しました。つい、

いつも見なれている品物を手にしては「あ、これはダメ！ 小さい袋がたくさんのごみになっちゃう」とあわてて戻す姿も見られました。お父さん、お母さんも一緒に参加して、子ども達ともども学んでいただけたようです。



“最後の手段の リサイクル”

分別の仕方、わかるかな？ カン、びん、ペットボトル選別体験コーナー

どさっと積まれた資源となるものを、種類別に分けるコーナー。いつもお母さん任せだと、こういう時にハジをかいってしまうんだなあ、などと思いつつ観察していると、子ども達は楽しそうに慣れた手付きでぼんぼんと分けていきました。意外、と言っては失礼ですね。ふだんのまじめな心がけの表われでしょう。

空き缶釣りゲームは、アルミ缶とスチール缶が混在する中に磁石をつけた釣り糸をたらし、スチール缶を釣り上げようという遊びです。識別マークが付いていたんだ！と発見し、磁石に付くのは鉄なんだ！と納得する子どもたち。分別と理科の勉強になりました。

絵合わせサイコロゲームは、資源回収に出された物が、次に一体どんな物に生まれ変わるのかを当てるゲーム。小学校の授業でリサイクルについて学ぶ高学年でもなかなかわからない物があって、悪戦苦闘ぶりが見られました。わからなかったのがくやしくて、何度もチャレンジするやる気満々の子ども達が大勢列を成しました。



今年度環境絵日記入賞作品展示

活動紹介コーナー

リデュースレンジャー基地

エコ買い物ゲーム

リデュースクイズ

休憩コーナー

環境絵日記

参加賞

受付

リサイクル

デザイン賞

受付

リデュース

レンジャー

基地

休憩

コーナー

環境絵日記

参加賞

受付

リサイクル

デザイン賞

受付

リデュース

レンジャー

基地

休憩

コーナー

環境絵日記

参加賞

受付

リサイクル

デザイン賞

受付

リデュース

レンジャー

基地

休憩

コーナー

環境絵日記

参加賞

受付

リサイクル

デザイン賞

受付

リデュース

レンジャー

基地

休憩

コーナー

環境絵日記

参加賞

受付

3Rクイズに答えてスタンプを
もらおう！6コ集めたら、
自分の顔写真付きの
“エコレンジャー認定証”が
もらえるよ！



環境絵日記歴代優秀作品展示

リサイクルレンジャー基地

G30分別ゲーム

リサイクルクイズ

神奈川県建具

協同組合

FSC教室机展示

リユースレンジャー基地

紙すき体験

ブンブン工作教室

リユースクイズ

休憩

コーナー

環境絵日記

参加賞

受付

リサイクル

デザイン賞

受付

リデュース

レンジャー

基地

休憩

コーナー

環境絵日記

参加賞

受付

リサイクル

デザイン賞

受付

リデュース

レンジャー

基地

休憩

コーナー

環境絵日記

参加賞

受付

リサイクル

デザイン賞

受付

リデュース

レンジャー

基地

休憩

コーナー

環境絵日記

参加賞

受付

リサイクル

デザイン賞

“最後の手段のリサイクル”

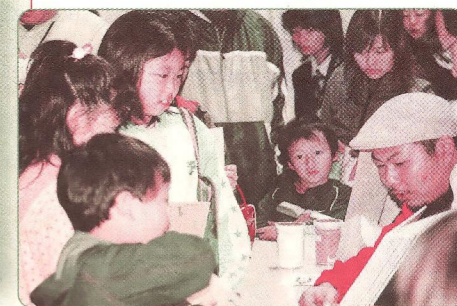
G30分別ゲーム・リサイクルクイズ

G30分別ゲームは、用意された小さな“ごみ”を種類別に分けることに挑戦するゲームです。段ボール箱の中にあるお菓子の箱や乾電池、ペットボトル、容器包装のプラスチック、空き缶などを、G30の一環として取り組む10分別15品目の分け方に合うように分けてみるというのですが、これがなかなか難しい。お父さんに聞いてもさっぱりわからなくて、困った顔の子どももちらほらでした。一人でしっかりできた子も、友だちと協力した子も、家族一緒に楽しんだ子も、みんな最後は満足げな表情に。これからは家庭から出るごみも、きっと進んで分別してくれることでしょう。



▲ごちゃごちゃになったごみを、小さく仕切られたマス目の中に種類別に分けていく。「混ぜればごみ、分ければ資源」ということにも気がついたかな？

クイズに答えながら会場を一周すると、スタンプがたまって“エコレンジャー認定書”がもらえる仕組みで、これは今年初めての催し物でした。環境絵日記に応募しなかった子も、フォーラムの当日にここに来ただけで楽しく3Rについて学ぶことができる、とご好評をいただきました。さて、来年はどんな企画が登場するか、お楽しみに！

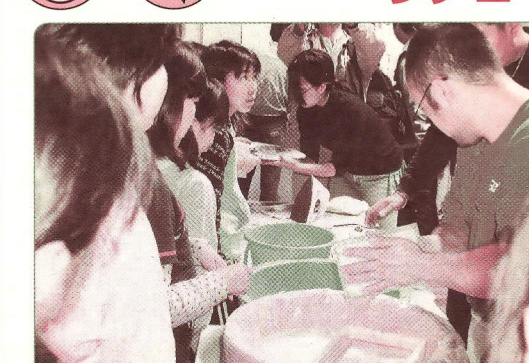


“リデュースの次に大切なリユース”

何度も使おう！ 紙すき体験教室& ブンブン工作教室

牛乳パックを使った手すきの紙作り。フォーラムを前に組合員が夜なべをして用意した材料を使って、大勢の子ども達がチャレンジしました。時間と場所がたっぷりあれば、牛乳パックを細かくしてミキサーにかけ、ドロドロに溶かす段階から体験させてあげたかったのですが、今回はそこを飛び越して型に流す工程にトライ。「こんなにどろどろしたものが、なんで紙になるのかな」……実際にやってみると、そのカラクリが子どもにもよくわかる様子。楽し気な歓声がさらにお客さん呼び、またたく間に順番待ちの行列が。わずか1時間ほどで、用意した材料が底を尽きてしまいました。家庭でもぜひ、トライしてみたいですね。

もうひとつの“ブンブン”は、間伐した竹の端材にタコ糸を通してぐるぐる回し、反動で逆回転するのを楽しむおもちゃです。とてもシンプルな造りなので、小さな子どもでも簡単に作ることができます。今回は、あらかじめタコ糸を通す穴を開けた材料を用意したので、あとは糸を通すだけ。でも、それだけではつまらないので、各自思い思いの絵を描いてもらいました。工夫次第で、身近にあるものを利用しておもちゃが作れる、という発見の喜びがそこにはありました。



環境事業局ポスターコンクール

ヨコハマはG30 ～ごみの減量・リサイクル、きれいなまちに～

ヨコハマはG30大賞に3作品が選ばれる

毎年行なわれる環境事業局のポスターコンクールが、今年も市内の小・中学校の子どもたちを対象に夏休みを利用して行なわれました。今年のテーマは「ヨコハマはG30～ごみの減量・リサイクル、きれいなまちに」です。

210校（小学校174校、中学校36校）から1,766点の作品応募があり、審査の結果、ヨコハマはG30大賞には、小学生低学年の部では青山奈央さん（南本宿小学校1年）、小学生高学年の部では細谷英里奈さん（榎が丘小学校5年）、そして中学生の部で吉川萌さん（六角橋中学校3年）の3人が選ばれました。その他には、G30へら星人ミーオ賞（3作品）、G30アイデア賞（15作品）、G30アピール賞（15作品）、G30あざやか賞（15作品）、G30賞（121作品）の合計172作品が入賞しました。

入賞作品は、どの作品も豊かな感性で色鮮やかに描かれており、子どもたちから「ごみの減量・リサイクル、きれいなまちに」に対する貴重なメッセージが書き込まれています。

●小学生低学年の部
青山奈央さん（南本宿小学校1年）



●小学生高学年の部
細谷英里奈さん（榎が丘小学校5年）



●中学生の部
吉川萌さん（六角橋中学校3年）

11月6日（土）午後3時から市長公舎に於て表彰式が行なわれ、入賞者とそのご家族が出席しました。入賞者には、それぞれ環境事業局長から賞状と記念品が渡されました。

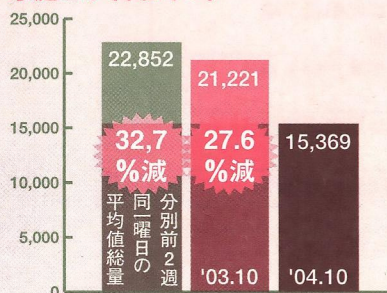
分別収集品目拡大を先行実施した6区で、家庭ごみ3割減少

「ヨコハマはG30」の取り組みの一つとして、家庭から出るごみの減量・リサイクルを推進するため、10月1日から6区（南・港南・磯子・金沢・栄・泉区）で先行して分別収集品目を拡大しました。開始1か月間の6区の家庭ごみ（燃やすごみ）の収集量は、開始前と比較して33%、前年同時期と比較して28%減量し、分別に取り組んでいた効果が現われています。

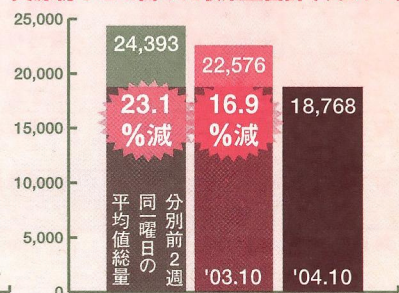
また、缶・びん・ペットボトルやプラスチック製容器包装、古紙、古布等資源物などを含めた収集量も、それぞれ23%、17%の減量になっています。これは分別拡大開始に伴い、減量・リサイクルへの市民意識が高まり、ごみの発生抑制の効果が働いたことによるものと思われます。

6区のごみ収集量

家庭ごみ（単位：トン）



資源物などを含めた収集量合計（単位：トン）



平成16年度4月～10月 全市のごみ排出量14万8千トン減少(対前年度)

平成16年4月から10月までの全市のごみ排出量は、昨年度の同時期と比べ、約14万8千トン減少し、約80万トンとなりました。

各区ごとの市民一人一日当りの家庭ごみ排出量についても、前年同時期に対し全区で減少しました。この結果、10月末現在、平成16年度の年間目標である「平成15年度に対し約9万3千トン削減」を約5万5千トン上回る結果となっています。

平成16年度(4月～10月)のごみ排出量の実績

※16年度実績は速報値であり10トン未満を四捨五入しています。



リサイクル掲示板

ファイバーリサイクル(古着・古布リサイクル回収)

※雨の日も回収するので、ぬれないようにビニール袋に入れてください。布団・ぬいぐるみは回収しません。

区	日・時	回収場所	各区ごみゼロ推進担当
中区	12月4日(土) 午前9:00～12:00	区内12か所	TEL 224-8132/FAX 224-8215
栄区	12月11日(土) 午前9:00～11:30	栄区役所駐車場	TEL 743-8199/FAX 712-0404

センターリサイクル 12月 ※品目ごとに分別を。事業系ごみは不可。

区	日・時	場所	回収品目	問い合わせ	備考
鶴見	4日・18日(土) 午前9:30～11:00	鶴見リサイクルプラザ	(区によって品目が異なります。詳しくはお問い合わせください) 古紙・古布・プラスチック製容器包装等	環境事業局鶴見事務所 TEL 502-5383/FAX 502-5482	雨天実施
神奈川	12日(日) 午前10:00～12:30	反町公園(神奈川区役所側)		エコライフかながわ TEL 413-3196	雨天実施
西	毎週土曜日 午前9:30～11:30	環境事業局西事務所 1階駐車場		環境事業局西事務所 TEL 241-9773/FAX 251-1791	雨天実施
中	18日(土) 午前9:30～11:30	①横浜公園日本大通り側 ②環境事業局中事務所		中区役所ごみゼロ推進担当 TEL 224-8140/FAX 224-8215	雨天実施・車で搬入可
南	11日(土) 午前9:30～11:00	環境事業局南事務所		環境事業局南事務所 TEL 741-3077/FAX 741-6492	
保土ヶ谷	4日・18日(土) 午前9:30～12:00	保土ヶ谷区役所別館 駐車場		保土ヶ谷区ごみゼロ推進担当 TEL 334-6304 FAX 332-7409	雨天実施
旭	19日(日) 午前9:00～12:00	環境事業局旭工場		環境事業局旭事務所 TEL 953-4811/FAX 953-6669	雨天実施
磯子	第1・第3土曜日 午前9:00～11:00	環境事業局磯子事務所		環境事業局磯子事務所 TEL 761-5331/FAX 754-6109	
金沢	毎週土曜日 午前9:00～11:00	環境事業局金沢事務所		環境事業局金沢事務所 TEL 781-3375/FAX 788-0269	
港北	4日・18日(土) 午前10:00～12:00	港北区役所 駐車場		環境事業局港北事務所 TEL 401-3133/FAX 401-6646	雨天実施・車で搬入可
緑	8日(水) 午前9:30～	なかやま「こどものはらっぱ」		緑区ごみゼロ推進担当 TEL 930-2241/FAX 930-2242	
青葉	5日・19日(日) 午前9:30～12:00	環境事業局青葉事務所 駐車場		環境事業局青葉事務所 TEL 975-0025/FAX 975-0028	雨天実施
都筑	第1・第3土曜日 午前10:00～11:30	環境事業局都筑工場 管理棟前		環境事業局都筑事務所 TEL 941-7914/FAX 941-8409	小雨実施
戸塚	11日(土) 午前9:00～11:00	環境事業局戸塚事務所 駐車場		環境事業局戸塚事務所 TEL 824-2580/FAX 824-2820	雨天実施
栄	4日・18日(土) 午前9:00～11:00	環境事業局栄事務所		環境事業局栄事務所 TEL 891-9200/FAX 893-7641	雨天実施・車で搬入可
泉	第1日曜日 午前9:00～12:00	環境事業局泉事務所		環境事業局泉事務所 TEL 803-5191/FAX 803-7951	雨天実施・車で搬入可
瀬谷	4日・18日(土) 午前9:00～12:00	ニッ橋公園		環境事業局瀬谷事務所 TEL 364-0561/FAX 391-4784	雨天中止・車で搬入可

子ども環境活動発表会

学校の授業や校外活動で環境について学び、熱心に行動する子ども達があります。どんなことを調べ、どんな活動をしているのかを発表してもらいました。

三ツ沢小学校 (神奈川区) エコライフ隊R

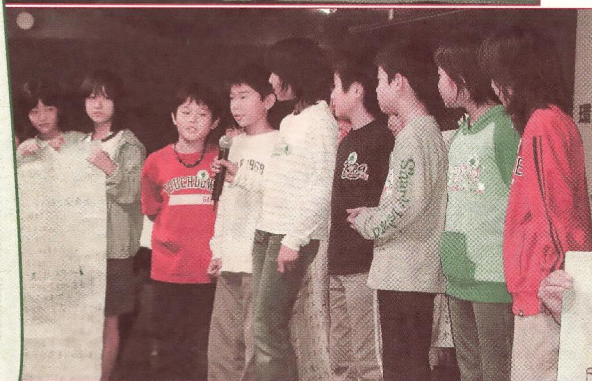
教室から出るごみを減らそう、という目的で結成されたのが5年3組のエコライフ隊Rです。ごみだと思っていた物も、よく考えるとまだ使えるな、捨てたらもったいないな、と気付いたのは大きな発見でした。クラスの中だけにとどめず、学校全体に広く訴えているのが「地球の環境を守るために、4つのRを大切にしよう」ということ。リデュース、リユース、リサイクルに加え、リフューズ（具体的には買い物の時にレジ袋をもらわないなど、ムダになりそうな物を断る、家に入れないということ）も進めるのが4Rです。

牛乳パックのリサイクルについては、サッとすすいでから開き、乾かして出すように全校に呼び掛け、「紙の生産によって世界の森林面積が減っている」というデータをあげて、紙のムダづかいをいましめました。

自分の家で実行している廃品利用の小物作りや、省エネクッキングのアイデアも披露され、家庭ぐるみで取り組む様子が想像できる発表でした。

5年3組担任／野間義晴先生から
フォーラム後にいただいたお手紙（抜粋）

本日はありがとうございました。充実した学習ができましたこと厚く御礼申し上げます。おかげさまで子どもたちも横浜市の人たちに自分たちの思いを伝えることができた喜んでいました。また、会場の工夫がとても良く、待ちの時間もいろいろな体験を含めた環境学習ができました。帰りの道々、クイズを復唱していた子どもがいたぐらいです。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。取り急ぎお礼まで。



子ども環境会議

カバゴン先生は 「生まれも育ちもヨコハマです」

舞台を教室風にアレンジし、カバゴンこと阿部進さんを先生として招き、子ども達による環境会議を行ないました。テーマは「エコレンジャーになるためには、どうしたらいいか」。児童役として、受賞者、善部・三ツ沢小学校から12名が参加してくれました。



トレードマークのもじゃもじゃヘアで、カバゴン先生はさっそうと教室に登場しました。

「こんにちは、ボクはね、西区で生まれてそれからずっと横浜に住んでいて、今は金沢区です。横浜では今、G30っていうのに取り組んでごみを減らそうとがんばっていますね。金沢区でも10月から細かい分別が始まりましたが、もっと昔からやっているとこがあったんです。九州は熊本県の、水俣市です。みんな知っていますか？ お父さんやお母さん方なら知っていますね、水俣病という怖い公害病で有名になってしまったところですよ」

善部小学校 (旭区) ブルーアースキーパーズ

ブルーアースキーパーズの子ども達は、寸劇『あなたはどっちのオバタリアン?』を上演してくれました。つねに環境保護を考えて行動する正しいお母さんと、ラクで便利でお金のかからないことを最優先してしまう(たぶん多くの主婦の本音を代弁する)お母さんがそれぞれの子どもと一緒に登場し、買い物をする様子を描いています。そうか、子どもって自分の母親の行動を、こんなに厳しい目で観察していたんだと、ハッとした人も多かったのではないのでしょうか。おもしろおかしい表現

の連発に、客席は大いに盛り上がりました。子ども達の堂々とした演技は表彰状もの。演じた後のインタビューでは「あなたのお母さんはどっちのオバタリアンなの?」と聞かれ、「それは家庭内の秘密です」と答えるなど笑いを誘いました。



演じた子ども達の感想 (6年生)

●この劇は、2年前からずっと練習していたもので、みなさんも良し子家のように環境のことを考え、今の地球環境の状況を知り、そのことについて取り組んでほしい、という思いでやってきました。この劇はいろいろなところで発表してきて、そのたびに会場のみなさんがぼくたちの気持ちを理解してくれました。また発表する機会があったらもっともっと練習して、世界中の人々が環境のことに気を使って、いつか地球が本当の意味で美しい星になってほしいと思います。そのために、ぼくたちはこれからもこの活動を続けます。

●私たちは4年生のころから練習をかさねてきましたが、今まで発表した4回の中で今回の会場が一番広かったので、しゃがみこむ人がいるくらいきん張していました。私は主役(?!)なので泣きそうになりながらリハーサルをしました。本番になってラップを落としたりセリフを忘れたりしてしまっただけで、みんなのフォローのおかげで一番の出来でした。とってもいい思い出になりました。ありがとうございました。

●4年生の時に入った子供エコクラブ。その活動の一環としてこの3年間環境劇の練習を重ね、これまで3回の講演をしてきました。本番当日、今まで練習してきた事を精一杯出し切った結果、見事成功し、客席からは拍手がわき上がりました。私は初めて劇をやって良かったと実感しました。司会の人に聞かれた質問には「子供が変われば親も変わる。中学に行っても環境活動を続け、広めていきたい」と答えました。これから、私が答えたことを実現させるため日々努力を重ねていきたいと思っています。

水俣病という痛い経験を通して、環境保護の大切さを思い知った水俣市ではごみの細かな分別を行なっていること、分別しているのは主に子ども達で、彼らはその作業をじつに楽し気にスピーディーに行なっているということなどのお話を繰り広げてくれました。実際に、教室の子ども達にも10分別15品目の分別に挑戦してもらいましたが、なかなか難しいと

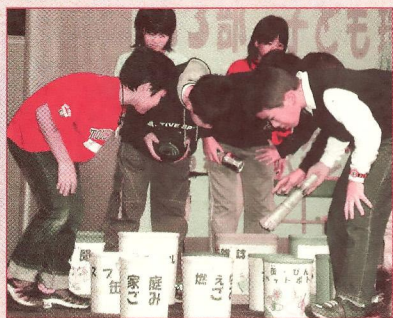
いうことが実感されました。

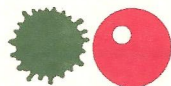
「同じ九州の鹿児島県の子ども達の絵を見ると、その色彩の鮮やかさに驚きます。どうしてかな、と考えただけで、きっときれいな景色を毎日毎日見て、それが心

や身体にしみ込んでいるせいではないかと思うんです。朝はピンク色に、夕方はオレンジ色に輝く櫻島と、それを映す錦江湾の美しさはもう、スゴイ。

ボクの知り合いに、リサイクル業を営む社長さんがいるんですが、その人は年に1回、従業員をみんな引き連れて京都の美術館に行くというのを続けています。従業員から“絵なんか見たってどうせわからないから、行きたくない”と言われる。すると彼は“オレたちは街をきれいにする仕事をしているんだぞ。何でもいいからとにかく絵をみて、1枚でもいいから自分の好きな絵を見つけるんだ”と言い放つ。彼は、イマジネーションの大切さを従業員に知らせたいんだな」

エコレンジャーになるためには、どうしたらいいか……。そのテーマに、はっきりとしたひとつの答えはなかなか出せませんが、その一つとしてイマジネーションの大切さを説いてくれたカバゴン先生でした。





RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2004年10月現在
日経10/28

品名	買入価格 1キロ当たり	業者の売値 1キロ当たり
新聞	*** 0円	5円
雑誌	** 0円	3円
段ボール	** 0円	3.5~4円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	
小学校アルミ缶回収	40~60円	

*集団回収には「買入価格」を適用 **有料

有料の場合あり*スチール缶と選別済の価格

★500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。

取引条件により多少変化します。

★事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。

事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

★小学校アルミ缶回収は、100kg以上の場合・小学校のみ適用。専用の回収袋を使用。現金化のほかにも車いす(250kgで)にも交換できます。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION

第10回リサイクルデザインフォーラムも皆様のおかげで、無事終了することが出来ました。今回は、初めて会場イベントエリア、ステージイベントエリアの2部構成での開催となりましたが、当日は、5616名という沢山の皆さんにご来場いただき、10カ月の間準備を重ねてまいりました実行委員一同、大変うれしく思っています。

また、5年目を迎えた環境絵日記にも4345作品という過去最多のご応募を戴き、心から感謝申し上げます。

これからもリサイクルというキーワードを通して、私たち組合員が市民の皆様とともにふれあい、リサイクルの発展のために一緒に考えることが出来る年に一度の「ファン感謝デー」のようなリサイクルデザインフォーラムを企画することが出来るよう努力して参ります。皆様のご理解と協力をよろしくお願いいたします。

実行委員長 栗原清剛

FAX 045-444-2533 (編集室)
Eメール mail@recycledesign.or.jp

ワタシの名前は **りくみ** ですくみ〜!

編集室から



リサイクルデザインキャラクター

名前：りくみ
人間なの？：地球の精霊のひとりです。
人間でいうと小学生ぐらい。まだまだ学習の精霊。
誕生日：10月20日 リサイクルの日(天秤座)
性別：人間でいうと女の子
血液型：不明
身長：だいたい10センチ。手のひらの大きさがうららかな？
体重：ひ・み・つ！
趣味：昼寝、絵日記を描くこと
特技：エコレンジャーを見つけること
好きな言葉：もったいない！
好きな食べ物：なんでも大好き。
嫌いな食べ物はありますか？
嫌いな物：カミナリ。だって怖いでしょ？
嫌いな言葉：使い捨て○○

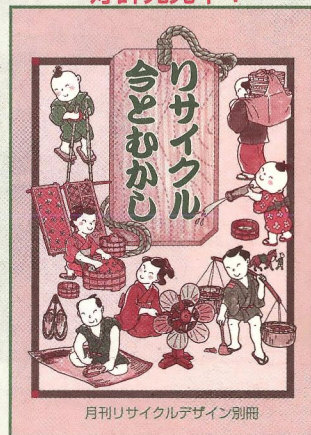
「リサイクル今とむかし」リサイクルデザイン 別冊

月刊リサイクルデザインでは、2003年1月の100号記念号で「リサイクルの今と昔」を特集しました。好評につき、その内容をい

好評発売中!

ちだんと豊富にして構成直し、あらためて、月刊リサイクルデザイン別冊「リサイクル今とむかし」を発刊しました。イラストを使って、子どもたちに分かりやすく、江戸時代のリサイクルから現在のリサイクルまでを紹介しています。

※グリーンバザール(南区六ツ川)に置いてあります



月刊リサイクルデザイン別冊

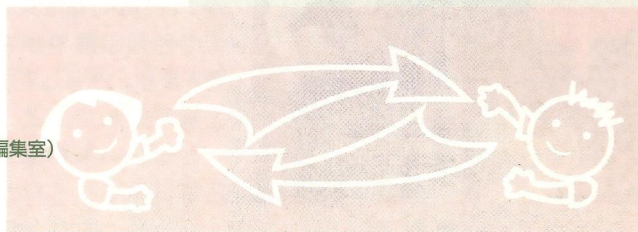
価格 **350円** (税込)
フルカラー24頁
※送料は別料金になります

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル(鶴見日新ビル2F) ●グリーンバザール(南区六ツ川) ●地酒 篠原屋(港北区篠原) ●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店 ●損保ジャパン横浜支店 ●東京ガス環境エネルギー館 ●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店 ●相鉄ローゼンミツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館 ●モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安 ●マイカル天王町サティ店 ●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店 ●カフェ杜(港北区日吉) ●きまま舎(緑区霧が丘) ●うどんカフェ(青葉区こどもの国) ●さくら歯科クリニック(オーケー港北ニュータウン店2F) ●リサイクルショップ「トロワの森」 ●横浜国立大学生生活協同組合大学会館店・工学部店 ●神奈川県中小企業団体中央会(中区尾上町) ●リセールショップ遊眠 ●Weショップ旭(旭区希望が丘) ●Weショップかながわ大口店(神奈川区大口通) ●Weショップかながわ六角橋店(神奈川区高藤分町) ●Weショップこうほく(港北区大豆戸) ●Weショップほどがや天王町店(保土ヶ谷区天王町) ●まおじょうむ(港北区綱島)

月刊 リサイクルデザイン No.123

発行日：2004年11月25日 発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合
発行人：秋元康男 〒221-0054
編集人：工藤健一 横浜市神奈川区山内町13番地
編集室：戸川孝則・竹澤留美 TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2533(編集室)
広報企画委員会：山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継 制作：(企)エコ・アド
杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛 印刷：(株)横浜プリント
栗原清剛・大内 敦



月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいISOYINK(大豆インク)を使用しています。